

指数一部改定のご案内

<脱着・取替指数の前提となる作業の最新化>

1. はじめに

近年、新たな車体構造の採用や修理技法の進展、ならびに法令・品質基準の明確化など、復元修理を取り巻く環境は大きく変化しております。

これまでも指数の追加や見直しは行ってまいりましたが、当センターのお客様相談室には脱着・取替指数の溶接系[※]に関する問合せが多く寄せられたことから、脱着・取替指数の溶接系について課題分析を行いました。その結果、従来の指数で想定していた作業と今日的な修理作業に乖離が見られ、且つ現行の車体構造をより反映するため、より実態に即した指数の前提となる作業の最新化を行いました。

このたび、指数の前提となる作業の最新化に伴う指数の一部改定について準備が整いましたので、その概要をご案内いたします。

※脱着・取替指数の溶接系：溶接作業を伴う、骨格部品を中心とした作業項目

2. 本取組みの位置づけ

本改定は、指数体系そのものを変更するものではなく、現行の指数・基表の運用範囲内において、作業前提を現状の整備実態に即した内容へ整理・最新化するものです。

3. 改定時期

2026年5月以降、市場へ提供する新型車の指数より順次提供します。

4. 主な最新化内容

(1) 品質基準の見直し

① 切継ぎ部の面仕上げ作業の見直し

仕上げ品質基準を再検証し、外観から見えない部位(例:クォータガラスの裏側等)についても、外観から見える部位と同様の仕上げ品質基準に見直しました。

② パテ仕上げ作業の見直し

切継ぎ部の面仕上げ作業の見直しと同様に、外観から見えない部位についても仕上げ品質基準を見直しました。

(2) 車体構造高度化への対応

① 溶接パネル組付け作業および計測作業の見直し

近年の車体構造高度化および部品点数の増加に対応するため、主体部品(例:クォータパネル等)以外の関連部品(例:ランプサポート等)の溶接に関わる固定方法および計測方法をより精緻に調査し、車種ごとに反映することとしました。

② ルーフボウの組付け作業および計測作業の見直し

車体構造の変化に伴うルーフボウ形状・構成の多様化に対応するため、車種ごとの固定方法およ

び計測方法の違いを反映しました。

- ③ 前部損傷(小範囲)の指数作業項目での外装部品と骨格部品のチリ・段差の確認作業の見直し
近年の車両構造の変化を踏まえ、対象となる主要な部品を整理・追加しました。
- ④ 前部損傷(小範囲)の指数作業項目でのメカニカル部品の取付け位置確認作業の見直し
アンダパスロッド等の新しい車体構造に対応するため、対象となる主要な部品を精緻に調査し、
車種ごとに反映することとしました。
- ⑤ 後部損傷の指数作業項目での外装部品と溶接部品のチリ・段差の確認作業の見直し
ボデー構造の差異や接着剤塗布の有無等、近年の構造特性を踏まえ、関連対象部品および確認回
数を整理し反映しました。

(3) 準備作業の整理

- ① ヒューム集塵機使用
関係法令および安全確保の観点から、溶接作業時にヒューム集塵機を使用することを前提とす
る作業工程へ変更しました。

5. おわりに

当センターでは、指数の透明性・客観性・整合性を高めることを重要課題と位置付けています。
今後も、車体整備の実態および市場環境の変化を踏まえながら検証作業を継続し、必要に応じて指数
や基表の追加・変更を順次行って、信頼性の高い指数の提供に努めてまいります。

JKC (指数部)